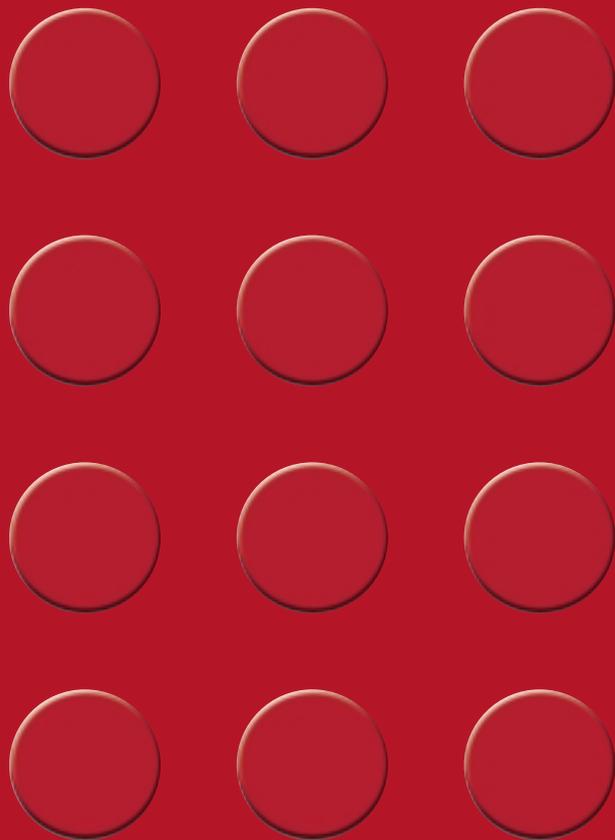


BELLE MAISON 千趣会



株式会社千趣会
第59期中間事業報告書

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成15年6月30日をもちまして、第59期（平成15年1月1日から平成15年12月31日まで）の中間決算を行いましたので、ここに経営成績と共に事業の概況をご報告申し上げます。



BELLE MAISON 千趣会

第59期中間事業報告書

目次

株主の皆様へ	3
経営方針	4
当社グループの経営成績	6
当社グループのトピックス	10
中間連結財務諸表	12
中間単独財務諸表	15
会社概要と株式のご案内	17

navigator for life style

経営方針

1. 経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としています。

また、株主・顧客・取引先の皆様および従業員など、すべての関係者と共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としています。

2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、安定的な配当の維持および適正な利益還元を基本としています。

内部留保金につきましては、新規事業の開発活動および既存事業の効率化を推進するための投資、財務体質のより健全化等に活用し、企業競争力と企業体質の更なる強化に取り組んでまいります。

なお、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能にするため自己株式を取得し、平成 15 年 7 月 31 日現在の取得累計は 4,437 千株、総取得価額は 24 億 87 百万円となっております。

3. 中期的な経営戦略

当社は、『小さな夢の発見と感動をお届けする・生活スタイルのナビゲーター』としての「21 世紀における新生千趣会」を誕生させるべく、平成 16 年 12 月期（第 60 期）を最終年度とする『中期経営計画』を策定しております。

（1）『中期経営計画』の基本方針

二つのブランド「千趣会」「ベルメゾン」の知名度を高めつつ、グループ全体をマルチチャネル型の流通業に転換します。

当社の中核事業であるカタログ事業と頒布会事業の再構築により、高収益企業への脱皮を図ります。

当社の経営資源を最大限に活かせる新規事業に対し、積極的な投資を行います。

上記の取り組みにより、平成 16 年 12 月期の経営目標「連結 ROE（株主資本利益率）5%」達成を目指します。

（2）『中期経営計画』の当中間期における取り組み状況

マルチチャネル型流通業への転換

当中間期におきましても、カタログ会員のインターネット会員化を推進し、受注コストの低減とマーケティングの効率化に努めました。また、アフィリエイト・プログラム（成果報酬型の Web 広告配信手法）の導入や「Yahoo! ショッピング」への出店により、インターネットによる新規顧客の獲得にも積極的に取り組みました。その結果、6 月末現在の「ベルメゾンネット」の会員数は 171 万名（前年同期比 60% 増）、当中間期の売上高は 115 億円（前年同期比 50% 増）となりました。

一方、店舗では、3 月 20 日に都市型実験店舗「ベルメゾン・スタイル」を東京お台場に出店いたしました。すでに出店済みの郊外型（愛知県蒲郡市）の「ベルメゾン・マーケット」と共に今後の店舗展開の標準モデルづくりに反映してまいります。また、2 月にはテレビショッピング、4 月にはラジオショッピングの実験も開始し、カタログ通販を核としてインターネット、店舗、マスメディアを組み合わせた「マルチチャネル型流通業」に向かって一歩ずつ前進いたしました。

中核事業の再構築

通販事業を中心に、仕入先の集約や付加価値商材の開発により原価率の低減に努めました。また、昨年からの取り組んだカタログ誌の集約によって媒体関連費用の効率化を行うと共に、商品配送や受注業務に関連する変動費についても削減を行い、利益体質の強化を着実に進めております。

その他

株主資本の運用効率の向上と株主利益の増進を図る目的で、平成 15 年 7 月 31 日現在、4,437 千株（取得価額 24 億 87 百万円）の自己株式を取得しております。

業績への貢献意欲や士気向上を目的として、当社グループの役員および社員に対し、ストックオプション並びに自社株連動型報酬（ファントムストック）を平成 15 年 4 月に導入いたしました。

退職給付債務の解消による財務体質の強化と成果主義人事との一貫性、整合性を保つため在籍者にかかる適格退職年金制度を廃止し、確定拠出型年金（日本版 401K）および前払い退職金のどちらかの選択または併用の制度を平成 15 年 7 月より導入いたしました。



当社グループの経営成績

1. 当中間期の概況

当中間期におけるわが国の経済は、一部に景気持ち直しの兆しが見られたものの、金融不安や不良債権問題、設備投資の低迷などにより、依然として厳しい状況にありました。また、企業の人員削減や賃金カットにより所得や雇用への不安感が増し、個人の消費意欲の停滞が続いております。通信販売業界におきましては、インターネット通販、テレビ通販等の新規参入企業も増加し競争環境が激化する中、価格競争や商品・サービスに対する消費者の選別が一段と激しさを増し、厳しい経営環境が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、顧客目線に立った「品揃え」「品質」「温かいサービス」をテーマに、オリジナル商品の開発強化やサービスの向上等に引き続き努めてまいりました。

当中間期の連結売上高は767億30百万円(対前年同期比0.8%減)とほぼ計画通りでした。

利益面に関しましては、通信販売事業において受注単価が前年を上回り、売上総利益率の改善や媒体関連費用をはじめ当社グループをあげて経費全般に亘る節減に努めました結果、連結営業利益は38億67百万円(対前年同期比23億4百万円増)を計上することができました。また、7億50百万円の見込みでありました連結経常利益は、営業利益が大幅に改善したこと、為替予約、通貨オプションなどの時価評価に伴う為替評価損が当初見込みより大幅減少した影響も加わり、38億63百万円(対前年同期比38億3百万円増)となり、連結純利益につきましては、15億13百万円(対前年同期比19億24百万円増)となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

連結キャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益28億34百万円と減価償却費12億5千万円を主体に営業

活動によるキャッシュ・フローは49億88百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出および投資有価証券の取得による支出等により、4億57百万円減少いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1億75百万円および自己株式の取得による支出額4億22百万円等により6億33百万円減少いたしました。

これらの結果、当中間期末の「現金及び現金同等物残高」は121億32百万円と、前期末と比べ38億97百万円増加いたしました。

〔株主趣会の営業成績〕

当中間期の営業成績につきましては、カタログ事業・頒布会事業・その他事業を合わせまして、売上高は756億14百万円(対前年同期比0.7%減)となりました。

利益面におきましては、原価率の改善と経費全般の節減の効果もあり、営業利益33億20百万円(対前年同期比19億52百万円増)を計上することができました。同じく、当初9億円の見込みでありました経常利益は、36億19百万円(対前年同期比36億15百万円増)となりました。

また、当中間期において退職金の制度変更に伴う特別損失を計上したことにより、当中間利益は16億67百万円(対前年同期比19億33百万円増)となりました。

当中間期の株主趣会の利益配当金につきましては、当期業績並びに今後の経営環境等、諸般の情勢を勘案すると共に、安定的な配当の継続も重視いたしました。その結果、中間配当金は1株当たり8円とし、年間配当金は1株当たり16円(当初計画は年間で1株当たり12円)を予定いたしました。

2. 当中間期の事業別概要

〔通信販売事業〕

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当中間期の連結売上高は751億98百万円(対前年同期比0.8%減)となり、計画を2億87百万円上回りました。連結営業利益につきましては、総原価率の低減および変動比率の改善と、カタログ制作印刷費用などの媒体関連費用をはじめとする経費全般に亘る節減効果が得られたことにより、41億53百万円(対前年同期比25億4百万円増*)となり、計画を大幅に上回ることができました。

(1) カタログ事業



カタログ事業では、15種類のカタログを通して様々な生活提案と共に千趣会らしさにこだわった商品をお届けいたしております。

昭和51年のスタート以来、ファッション衣料を中心として服飾雑貨、インテリア、日用雑貨からマタニティ用品、子供服に至るまでの様々なジャンルの商品を「好センス・好機能・好品質・好価格」をモットーに豊富に品揃え、会員の皆様の支持を得てまいりました。

当中間期は、「雑貨ナンバーワン、衣料オンリーワン」のスローガンのもと、雑貨カタログの発行部数増を図る一方で、衣料分野ではオリジナル商品力強化と充実を図り、収益力の強化を目指しました。その結果、当期の連結売上高は642億11百万円(対前年同期比0.2%減*)となり、計画を若干上回る結果となりました。



すまいと雑貨
インテリアや収納用品、家具やファブリック・コスメ・生活雑貨など毎日暮らしに必要な商品をインデックス編集で、年3回発行



ファッショングッズ
バッグ、シューズ、アクセサリ、時計などの服飾雑貨をコーディネート提案。インポートのブランド商品も充実。年3回発行



ホームベース
使いやすく機能的、無駄を省いたシンプル仕様、しかもセンスのいいインテリアやファブリックのオリジナルブランド。年2回発行



カジュアルプラス
オシャレやトレンドに敏感な20代女性にむけて、ファッション衣料や服飾雑貨を中心にセレクトショップ感覚で提案。年3回発行

当社グループの経営成績

(2) 頒布会事業



頒布会事業は、オフィスや家庭の女性のグループを中心に、毎月、定期的に商品をお届けするという販売形態をとっており、他の通信販売会社には無い独自のシステムで展開しています。

商品としては、「ハートジョイコレクション」と「わくわくの森コレクション」という2シリーズで展開しております。

当中間期も「ハートジョイコレクション」において16点の新商品を投入して、多様化する顧客の幅広いニーズに対応いたしました。

当中間期「ハートジョイコレクション」の主な商品

ホームメイドクラブ 飲茶づくり

本格点心手作りキット

コーディネート・ネックレス

チェーンとチャームを自由にコーディネートできるシルバーネックレス

香りのお茶

“香りと甘味”を持つ中国茶葉のシリーズ

フェミニンレースコレクション

自然で美しいヒップラインを魅せる、スカートに素敵にきたい人のためのレースショーツ

コットンフィット ショーツ

きれいなヒップラインをつくる、パンツ派のための一分丈ショーツ

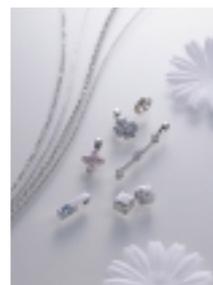
ハローキティ プチリウム

「ハローキティ」のキャラクターが入ったプチリウム

ビーズ&ビーズシック

ビーズアクセサリキットの洗練された新デザインでシックな印象のもの

当中間期の連結売上高は109億86百万円(対前年同期比4.2%減[*2])となり、月次平均会員数は86万5千人となりました。



コーディネート・ネックレス



ビーズ&ビーズシック



ホームメイドクラブ 飲茶づくり



フェミニンレース コレクション



マンズリークラブ カタログ

〔その他事業〕

旅行・クレジット・サンプリング封入などを主とするサービス事業と、運送事業などを合わせたその他事業の当中間期の連結売上高は、15億32百万円(対前年同期比1.5%増[*1])で、計画を1億58百万円下回りました。

経費の増加もあり、連結営業損失は3億93百万円(対前年同期比2億88百万円損失増)となりました。



新デザインのクレジットカード



〔*1〕今年度より事業区分変更を行いました。対前年同期比数値は新事業区分の基準による比較となっております。

〔*2〕今年度より組織変更に伴い通信販売事業の頒布事業からカタログ事業へ一部媒体を移管いたしました。対前年同期比数値は移管後の基準による比較となっております。

3. 通期の見通し

今後の見通しとして、日本経済は一部で景気回復への動きが見られるものの、依然として消費マインドは冷え込み、通信販売業界におきましても厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループといたしましては、『中期経営計画』の達成に向けて、中核事業であるカタログ通販事業と頒布会事業の再構築を更に推し進めることにより、事業基盤の拡大と収益力の強化を行います。

連結売上高は当初計画と同程度の1,513億円と予想しております。なお、下期に下期以降の売上拡大を図るべく、会員数増加のための販促費用を積極的に投下する計画です。利益面につきましては、原価率の改善等により、連結経常利益は、当初計画に対して13億50百万円上回る44億50百万円、連結当期純利益は22億円の見通しです。

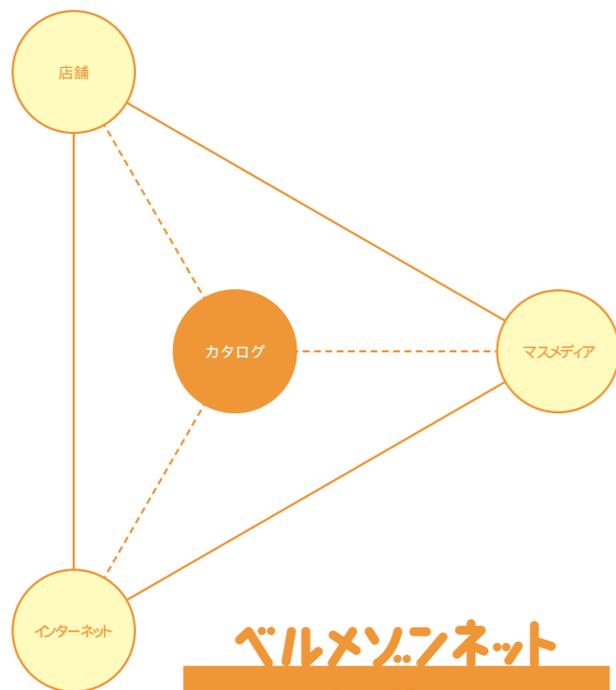
今後とも、当社グループ一丸となって更なる企業価値の向上に全力を尽くす所存でございます。

株主の皆様方からの一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げる次第でございます。

当社グループのトピックス

マルチチャネル型流通業への転換を目指して、新しい取組みが次々にスタートしています。

21世紀の新生千趣会のキーワードは、カタログ、インターネット、店舗、そしてテレビやラジオ、それぞれのチャネルがシナジー効果を発揮できるマルチチャネル型流通業への転換。カタログを中核にして販売チャネルを多角化していくことで、更に多くのお客様にすてきなモノや情報をお届けしてまいります。



ベルメゾンネット
www.bellne.com

新しいショップが加わってさらに内容充実「ベルメゾンネット」

ディズニー・グッズ専門の「ディズニー・ファンタジー・ショップ」

ディズニー・グッズ専門のショッピングサイト「ディズニー・ファンタジー・ショップ」が平成15年2月にベルメゾンネットの中にオープンしました。ディズニーとのライセンス契約によって誕生したサイトでは、カタログで扱っている商品がキャラクターやアイテム別で検索できるほか、ネットのみで購入できるオリジナル限定商品の販売も企画。カタログとネットとのシナジー効果でディズニーファンの拡大をはかってまいります。



<http://www.bellne.com/disney>

©Disney Based on the "Winnie the Pooh" works, by A.A.Milne and E.H.Shepard

女性の健康とキレイを応援する「ヘルスキューブ」

“病気ではないけれど何となく毎日不調で悩んでいる”という女性の声に応えるサイト「ヘルスキューブ」が、平成15年5月にベルメゾンネットの中にオープンしました。サプリメントや健康食品などの掲載商品600品目のうち約半数が、最新の健康トレンドを意識したネット限定品になっています。また、女性特有の病気や体の仕組み、不定愁訴など、現代女性の誰もが抱えている悩みについて専門の先生から学べる「へるすなび」をコンテンツに加えることで、便利で役に立つサイトを目指しています。



<http://www.bellne.com/health>

「Yahoo!ショッピング」上でも、約1万アイテムを販売

平成15年5月より、「ベルメゾンネット」内で掲載している約1万アイテムの商品が、「Yahoo!ショッピング」上でも購入できるようになりました。この取り組みは、インターネットによる販売強化策のひとつで、今後も自社以外のショッピングサイトへの出店やリンク契約によって会員数と売上の拡大を目指してまいります。

会員数は175万人を突破、売上金額は240億円を計画

女性向けナンバーワンショッピングサイトを目指している「ベルメゾンネット」の会員数は、平成15年7月末には175万人を突破。今年度に入ってからこの7ヶ月間で約41万人増加しています。また、当期末の売上金額も前期比150パーセント増の240億円を計画しています。



<http://www.bellne.com>

実験店舗の2号店が東京お台場にオープン

昨年9月にオープンしたカタログ店舗「ベルメゾン・マーケット」ラagna蒲郡店（愛知県蒲郡市）に続いて、平成15年3月には、東京お台場のデックス東京ビーチ内に、実験店舗の2号店「ベルメゾン・スタイル」がオープンしました。店内には和のインテリアやモダンテイストの小物など、ベ



東京お台場「ベルメゾン・スタイル」

ルメゾンの目で選び抜いたファッションやおしゃれ雑貨をセレクト編集。今後の店舗展開の標準化モデルづくりに反映させていきます。なお今年度は、7月に北海道小樽市、8月には愛知県丹羽郡扶桑町に3号店、4号店を開店いたしました。



小樽店

テレビ、ラジオショッピングの実験もスタート

平成15年春より、本格的なマスメディアでの展開を睨んだ実験をスタートしました。インフォーマーシャル型（コマーシャルを情報番組の体裁で提供するもの）のテレビやラジオショッピング番組に加えて平成15年4月からはテレビ大阪とのタイアップによる生活提案型TVショッピング番組「キレイの鉄則」をスタート。ベルメゾンの強みを生かした新たな販売チャネルへの取り組みが始まっています。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間連結 会計期間末	当中間連結 会計期間末	前連結会計年度の 要約連結 貸借対照表
	平成14年6月30日現在	平成15年6月30日現在	平成14年12月31日現在
資産の部			
流動資産	43,885	47,601	44,392
現金及び預金	6,980	11,903	7,996
受取手形及び売掛金	12,209	11,442	9,361
有価証券	294	232	242
たな卸資産	14,561	13,606	14,937
繰延税金資産	28	297	12
未収入金	5,731	5,245	6,618
その他	4,348	5,131	5,471
貸倒引当金	268	257	247
固定資産	45,508	40,973	43,726
有形固定資産	32,557	30,773	31,660
建物及び構築物	14,856	13,719	14,330
機械装置及び運搬具	4,255	3,691	4,040
器具及び備品	864	992	825
土地	12,463	12,369	12,463
建設仮勘定	116	-	-
無形固定資産	2,301	1,821	2,105
投資その他の資産	10,649	8,378	9,961
投資有価証券	3,854	3,484	3,278
長期貸付金	857	669	1,011
保証金及び敷金	1,343	1,175	1,175
繰延税金資産	2,539	1,179	2,609
その他	2,637	2,459	2,491
貸倒引当金	581	589	604
資産合計	89,394	88,575	88,118
	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結 会計年度
有形固定資産の減価償却累計額	28,996百万円	30,736百万円	29,953百万円
1株当り中間(当期)純利益	8円79銭	34円51銭	29円90銭

	前中間連結 会計期間末	当中間連結 会計期間末	前連結会計年度の 要約連結 貸借対照表
	平成14年6月30日現在	平成15年6月30日現在	平成14年12月31日現在
負債の部			
流動負債	37,710	36,181	36,205
支払手形及び買掛金	16,860	15,233	15,289
短期借入金	127	306	93
未払金	16,781	16,316	16,189
未払費用	1,471	2,282	1,419
未払法人税等	101	205	342
未払消費税等	425	298	875
繰延税金負債	172	-	-
割賦売上未実現利益	311	155	287
景品等引当金	667	-	-
販売促進引当金	-	774	933
その他	791	606	774
固定負債	5,318	4,746	5,280
長期借入金	717	531	778
再評価に係る繰延税金負債	926	896	926
退職給付引当金	1,458	1,172	1,321
役員退職慰労引当金	826	757	864
会員預り金	1,389	1,387	1,389
負債合計	43,028	40,927	41,485
少数株主持分	48	47	47
資本の部			
資本金	20,359	20,359	20,359
資本剰余金	19,864	19,864	19,864
利益剰余金	16,207	19,009	17,802
土地再評価差額金	9,159	9,008	9,159
その他有価証券評価差額金	49	303	382
為替換算調整勘定	42	29	29
自己株式	860	2,290	1,867
資本合計	46,317	47,601	46,585
負債、少数株主持分及び資本合計	89,394	88,575	88,118

中間連結損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結会計年度の 要約連結 損益計算書
	平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで
売上高	77,333	76,730	147,100
売上原価	40,604	39,195	76,821
売上総利益	36,728	37,534	70,279
販売費及び一般管理費	35,165	33,666	66,953
営業利益	1,563	3,867	3,325
営業外収益	173	170	300
受取利息・配当金	36	34	62
その他の営業外収益	136	135	238
営業外費用	1,676	174	1,587
支払利息	23	20	50
為替差損	1,554	13	1,299
その他の営業外費用	98	140	237
経常利益	60	3,863	2,039
特別利益	446	312	1,446
固定資産売却益	0	24	0
割賦売上未実現利益戻入高	446	287	446
業務提携収入	-	-	1,000
特別損失	650	1,341	1,667
固定資産売却及び除却損	39	117	70
割賦売上未実現利益繰延高	311	155	287
ゴルフ会員権評価損	6	-	8
事業再構築費用	290	-	378
特別退職金	-	404	-
確定拠出年金制度移行に伴う損失額	-	504	-
リース解約損	-	128	-
貸倒引当金繰入額	1	6	22
投資有価証券売却損	0	1	0
投資有価証券評価損	0	22	443
子会社整理損	-	-	456
税金等調整前中間(当期)純利益	143	2,834	1,818
法人税、住民税及び事業税	101	213	370
法人税等調整額	181	1,105	96
少数株主利益	14	2	15
中間(当期)純利益	411	1,513	1,366

中間連結剰余金計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結会計年度の 要約連結 剰余金計算書
	平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	19,864	19,864	19,864
資本剰余金中間期末(期末)残高	19,864	19,864	19,864
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	16,809	17,802	16,809
利益剰余金増加高	411	1,513	1,366
中間(当期)純利益	411	1,513	1,366
利益剰余金減少高	190	305	374
配当金	190	176	374
役員賞与	-	5	-
土地再評価差額金取崩額	-	123	-
利益剰余金中間期末(期末)残高	16,207	19,009	17,802

中間連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書		前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書
	平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで		平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,166	4,988	756	投資活動によるキャッシュ・フロー	660	457	1,453
1. 税金等調整前中間(当期)純利益	143	2,834	1,818	1. 投資有価証券の取得による支出	131	351	521
2. 減価償却費	1,322	1,250	2,704	2. 投資有価証券の売却等による収入	0	209	0
3. 投資有価証券評価損	0	22	443	3. 有形固定資産の取得による支出	184	431	397
4. 事業再構築費用	290	-	378	4. 有形固定資産の売却による収入	-	222	-
5. 子会社整理損	-	-	456	5. 無形固定資産の取得による支出	372	167	647
6. 貸倒引当金の増加額	19	0	22	6. 定期預金の増加額	0	-	-
7. 退職給付引当金の減少額	164	149	300	7. その他資産の増減額	28	60	112
8. 景品等引当金の減少額	79	-	746				
9. 販売促進引当金の減少(増加)額	-	159	933	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,262	633	2,427
10. 受取利息及び受取配当金	36	34	62	1. 短期借入金の純増減額	94	22	-
11. 支払利息	23	20	50	2. 長期借入金による収入	-	-	144
12. 固定資産売却益	-	24	-	3. 長期借入金の返済による支出	120	54	332
13. 固定資産売却及び除却損	-	117	-	4. 自己株式の取得による支出	855	422	1,862
14. 特別退職金	-	404	-	5. 配当金の支払額	190	175	374
15. 確定拠出年金制度移行に伴う損失額	-	504	-	6. 少数株主への配当金の支払額	2	2	2
16. 売上債権の増加(減少)額	2,703	2,081	143				
17. たな卸資産の減少額	840	1,330	464	現金及び現金同等物の増加(減少)額	4,089	3,897	3,124
18. その他流動資産の減少額	3,103	2,004	1,098				
19. 仕入債務の減少額	2,317	56	3,888	現金及び現金同等物の期首残高	11,360	8,235	11,360
20. 未払消費税等の減少(増加)額	-	576	519				
21. その他流動負債の増加(減少)額	717	75	1,747	現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	7,271	12,132	8,235
22. 役員賞与の支払額	-	5	-				
23. その他	196	81	459				
小計	366	5,396	2,746				
24. 利息及び配当金の受取額	37	37	61				
25. 利息の支払額	24	19	46				
26. 事業再構築のための支出	1,760	-	1,877				
27. 特別退職金の支払額	-	106	-				
28. 法人税等の支払額	52	320	128				

中間単独財務諸表

(株)千趣会 中間貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間 会計期間末	当中間 会計期間末	前事業年度の 要約貸借対照表		前中間 会計期間末	当中間 会計期間末	前事業年度の 要約貸借対照表
	平成14年6月30日現在	平成15年6月30日現在	平成14年12月31日現在		平成14年6月30日現在	平成15年6月30日現在	平成14年12月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産	42,067	45,311	41,512	流動負債	37,006	35,762	35,409
現金及び預金	5,309	9,447	5,453	支払手形	9,875	8,911	8,385
受取手形	33	28	143	買掛金	6,949	6,289	6,873
売掛金	11,969	11,179	9,021	短期借入金	66	261	59
たな卸資産	14,507	13,584	14,888	未払金	16,918	16,753	16,365
未収入金	6,000	5,460	6,785	未払費用	944	1,833	964
その他の流動資産	4,522	6,575	6,161	景品等引当金	667	-	-
貸倒引当金	277	964	939	販売促進引当金	-	774	933
固定資産	45,571	40,938	43,695	その他の流動負債	1,584	939	1,828
有形固定資産	29,831	27,943	28,997	固定負債	3,705	3,188	3,675
建物	13,316	12,337	12,879	長期借入金	680	517	752
土地	10,655	10,561	10,655	再評価に係る繰延税金負債	896	867	896
その他の有形固定資産	5,859	5,043	5,462	退職給付引当金	1,365	1,120	1,230
無形固定資産	2,229	1,786	2,035	役員退職慰労引当金	762	683	795
投資その他の資産	13,510	11,209	12,663	負債合計	40,711	38,950	39,085
投資有価証券	3,572	3,161	2,925	資本の部			
子会社株式	2,230	1,981	1,981	資本金	20,359	20,359	20,359
保証金及び敷金	980	1,003	987	資本剰余金	19,864	19,864	19,864
その他の投資等	7,308	5,653	7,372	資本準備金	19,864	19,864	19,864
貸倒引当金	580	589	603	利益剰余金	16,813	18,716	17,348
資産合計	87,638	86,249	85,208	利益準備金	1,118	1,118	1,118
				任意積立金	13,771	13,762	13,771
				固定資産圧縮積立金	94	90	94
				海外投資等損失準備金	76	72	76
				別途積立金	13,600	13,600	13,600
				中間(当期)未処分利益	1,923	3,835	2,458
				(うち中間(当期)純利益)	(266)	(1,544)	(452)
				土地再評価差額金	9,201	9,050	9,201
				株式等評価差額金	46	299	378
				自己株式	860	2,290	1,867
				資本合計	46,927	47,298	46,123
				負債・資本合計	87,638	86,249	85,208
有形固定資産の減価償却累計額	27,570 百万円	29,265 百万円	28,504 百万円				
1株当たり中間(当期)純利益	5円69銭	38円03銭	9円90銭				

中間単独財務諸表

(株)千趣会 中間損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	前中間 会計期間 平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	当中間 会計期間 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前事業年度の 要約損益計算書 平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで		前中間 会計期間 平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで	当中間 会計期間 平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで	前事業年度の 要約損益計算書 平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで
経常損益の部				特別損益の部			
営業損益の部				特別利益	440	304	1,163
営業収益	76,158	75,614	144,826	固定資産売却益	0	17	0
売上高	76,158	75,614	144,826	割賦売上未実現利益戻入高	439	287	439
営業費用	74,790	72,293	142,048	業務提携収入	-	-	723
売上原価	40,142	38,843	75,958	特別損失	569	1,172	2,605
販売費及び一般管理費	34,648	33,449	66,090	固定資産売却及び除却損	18	90	36
営業利益	1,368	3,320	2,777	割賦売上未実現利益繰延高	311	155	287
				ゴルフ会員権評価損	6	-	8
営業外損益の部				事業再構築費用	230	-	320
営業外収益	297	392	658	特別退職金	-	263	-
受取利息・配当金	169	266	417	確定拠出年金制度移行に伴う損失額	-	504	-
その他の営業外収益	127	126	241	リース解約損	-	128	-
営業外費用	1,661	93	1,491	貸倒引当金繰入額	1	6	712
支払利息	22	20	49	投資有価証券売却損	0	1	0
為替差損	1,554	13	1,299	投資有価証券評価損	0	22	534
その他の営業外費用	83	59	142	子会社株式評価損	-	-	249
				子会社整理損	-	-	456
経常利益	4	3,619	1,944				
				税引前中間(当期)純利益	125	2,751	502
				法人税、住民税及び事業税	14	14	28
				法人税等調整額	126	1,069	21
				中間(当期)純利益	266	1,667	452
				前期繰越利益	2,190	2,291	2,190
				中間配当額	-	-	183
				土地再評価差額金取崩額	-	123	-
				中間(当期)未処分利益	1,923	3,835	2,458

会社概要と株式のご案内

株式会社千趣会の概要

(平成15年6月30日現在)

商号 株式会社千趣会

設立 昭和21年3月22日
 当社は、昭和52年9月30日を合併期日として、株式の額面変更をするための合併を行っており、実質上の存続会社の設立年月日は、昭和30年11月9日であります。

資本金 20,359,134,244円

会社が発行する株式の総数 90,000,000株

発行済株式の総数 47,630,393株

株主数 5,693名

従業員数 703名

本社 大阪市北区同心1丁目4番31号

東京支社 東京都品川区東五反田1丁目21番13号
 ランディック五反田ビル

商品センター数 4ヶ所

関係会社数 連結子会社17社を含む22社

関係会社

(平成15年6月30日現在)

主な連結子会社

販売子会社8社
 資本金 合計190百万円
 持株比率 100%
 主要な事業内容 (株)千趣会の商品の販売斡旋業

千趣会ゼネラルサービス(株)
 資本金 496百万円
 持株比率 100%
 主要な事業内容 旅行業・情報提供サービス業
 およびゴルフ場の経営

千趣運輸(株)
 資本金 99百万円
 持株比率 100%
 主要な事業内容 貨物自動車運送業

千趣物流(株)
 資本金 95百万円
 持株比率 100%
 主要な事業内容 荷造り梱包業

千趣会コールセンター(株)
 資本金 60百万円
 持株比率 100%
 主要な事業内容 テレマーケティング業務の企画・実施

会社概要と株式のご案内

株式会社千趣会の役員

(平成15年6月30日現在)

代表取締役社長 行待 裕弘
代表取締役 高井 恒昌
取締役副社長 廣 壽 謙
専務取締役 野口 公俊()
常務取締役 堀井 紘一()
常務取締役 猪田 義廣
常務取締役 朝日 朗殖
取締役相談役 宮地 孝
取締役 島田 勝利()
取締役 田川 喜一()
取締役 田辺 道夫()
取締役 澤本 荘八()
取締役 鳥取 捷二()
執行役員 吉田 詔
執行役員 日向 皎
執行役員 久保田 清
執行役員 藤由 和秀
執行役員 太田 親利
監査役(常勤) 佐野 誠
監査役(常勤) 山岸 洋二
監査役 羽間 平安
監査役 小泉 英之

()印の取締役は、執行役員を兼務しております。

会計監査人

新日本監査法人
大阪事務所
大阪市中央区安土町2丁目3番13号大阪国際ビル

株式のご案内

決算期 12月31日
配当金 利益配当金受領確定日 12月31日
中間配当金受領確定日 6月30日
株主優待 権利確定日およびカタログの初回発送時
12月31日...3月下旬初回発送予定
6月30日...9月下旬初回発送予定
カタログ掲載商品総代金の割引(15%)
株主総会 定時株主総会 3月
臨時株主総会 必要の都度
株主確定基準日 12月31日
その他必要のあるときは、あらかじめ公告して基準日を定める。
公告の方法 日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、以下のURLにおいて提供する。
<http://www.senshukai.co.jp/kessan>
名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701
(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他のご照会) ☎0120-176-417
同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式の数 1,000株
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部



